

科目	プログラミング演習Ⅱ	担当	内藤 幸三	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

Java言語の学習である。Java言語の特徴やアルゴリズムを理解しJavaプログラムを理解できるようにする。  
演習Ⅱでは応用的なJavaプログラムを製作できるようになりオリジナルのプログラムが作れるようになる。

**【履修注意】**

毎回の講義にはパソコンが必要となるので必ず持参すること。

**【評価方法】**

期末評価80%、提出課題10%、授業態度10%で評価する。

**【試験について】**

期末に評価のための筆記試験を行う。

再試験対象者の条件：総合評価が60%以下の学生に対して行う

**【予習・復習】**

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要です。

**【教科書】**

書籍名：やさしいJava第6版(「やさしい」シリーズ) 出版社：ソフトバンククリエイティブ第5版

**【参考書】**

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	クラスの機能1	メンバへのアクセス制限、メソッドのオーバーロード
2	クラスの機能2	コンストラクタの基本、クラス変数・クラスメソッド
3	クラスの利用1	クラスライブラリ、その他のクラス
4	クラスの利用2	クラスの拡張・継承、サブクラスとインスタンス
5	新しいクラス1	継承・オーバーライドの制限
6	新しいクラス2	情報隠蔽方法
7	中間のまとめ	前半のまとめ
8	インターフェース1	インターフェースの基本
9	インターフェース2	インターフェースの利用・拡張
10	ファイル処理	ファイル処理、データファイル処理方法
11	大きなプログラムの作成	パッケージの基本、利用方法
12	例外と入出力処理	例外の基本、クラス定義
13	マルチスレッド1	スレッドとは、スレッドの生成・開始
14	マルチスレッド2	スレッド制御、優先順位、排他制御、同期処理
15	アプレット	アプレットの基本と使用方法
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ